

頂点にあるものは何か

価値とは何か？

価値あるものを見つける

本当の目的はどこにあるか？

“親切”、“温情”、それは宝石の、氷の結晶のようなもの

“頂点の宝石”が金属をも粉砕する

目的に向かう注力となるもの、“尖ったもの”

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 戦士に優しかった名將軍 司马穰苴, 李牧, 李广

日付: 2023/02/27 5:09:09

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

史記 64

2 史記

2023.02.27

司马穰苴 (史记卷六十四)

士兵們安營紮寨, 掘井立灶, 飲水吃飯, 探問疾病, 安排醫藥, 田穰苴都親自過問並撫慰他們。

還把自己作為將軍專用的物資糧食全部拿出來款待士兵。

自己和士兵一樣平分糧食。把體弱有病的統計出來。

三天后重新整訓軍隊, 準備出戰。

病弱的士兵也都要求一同奔赴戰場, 爭先奮勇地為他戰鬥。

晉國軍隊知道了這種情況, 就把軍隊撤回去了。

士卒が宿営し、井戸や竈を掘り、飲み食いするにも、病気のものをたずね手当させるにも、自身でみてまわり、將軍の用度や食糧はすべて士卒に与えて使わせ、自分の食べる物は士卒と同等にし、中でもやせて弱い者の程度にした。三日たって閲兵したとき、病気の者まで行軍に加わり、ふるい立って合戦に出たいと申し出た。

李牧 (史记卷八十一)

李牧是趙國北部邊境的良將。長期駐守代地雁門郡, 防備匈奴。

他有權根據需要設置官吏, 防地內城市的租稅都送入李牧的幕府,

作為軍隊的經費。他每天宰殺幾頭牛犒賞士兵, 教士兵練習射箭騎馬,

小心看守烽火臺, 多派偵察敵情的人員, 對戰士待遇優厚。

訂出規章說: “匈奴如果入侵, 要趕快收攏人馬退入營壘固守,

有膽敢去捕捉敵人的斬首。”匈奴每次入侵, 烽火傳來警報,

立即收攏人馬退入營壘固守, 不敢出戰。像這樣過了好幾年,

人馬物資也沒有什麼損失。

可是匈奴卻認為李牧是膽小, 就連趙國守邊的官兵也認為自己的主將膽小。

單 (c hán, 纏) 於聽到這種情況, 就率領大批人馬入侵。

李牧布下許多奇兵，張開左右兩翼包抄反擊敵軍，大敗匈奴，殺死十多萬人馬。滅了襜（dān，丹）褫（lán，蘭），打敗了東胡，收降了林胡，單于逃跑。此後十多年，匈奴不敢接近趙國邊境城鎮。

李牧というのは、趙の北方の辺境における名将である。いつも代の雁門にいて匈奴族に備えていた。必要に応じ地方官を任命し、土地の租税はすべてその幕府に収められて、士卒の費用にあてられた。毎日数頭の牛をほふり士たちにふるまい、弓術馬術を調練し、烽火の警報に気をくばり、間諜を多くおき、戦士を厚遇していた。「匈奴がもし略奪に来ても、いそいでとりでに入れ。賊をとらえる者は死刑にする」と定めてあった。匈奴が入りこんでくるたびに、烽火をあげて警報が伝えられると、とりでにはいって、戦おうとすることはない。このようにして数年したが、さして損失はなかった。けれども匈奴は李牧をおくびようだと思い、趙の守備隊でさえ自分たちの大将はおくびようだと

匈奴の王] 単于はそれを聞き、大挙してやって来た。李牧はいろいろと変化した陣をかまえ、左右の翼をひろげ、攻撃して大敗せしめ、匈奴十万余騎をうちとり、襜族をほろぼし、東胡族を撃破し、林胡族を降服させて、単于は逃走した。そののち十年あまり、匈奴は趙の辺城に近づこうともしなかったのである。

李广（史记卷一百零九）

李廣為官清廉，得到賞賜就分給他的部下，飲食總與士兵在一起。李廣一生到死，做二千石俸祿的官共四十多年，家中沒有多餘的財物，始終也不談及家產方面的事。

李廣語言遲鈍，說話不多，與別人在一起就在地上畫軍陣，然後比射箭，按射中較密集的行列還是較寬疏的行列來定罰誰喝酒。

他專門以射箭為消遣，一直到死。

李廣帶兵，遇到缺糧斷水的地方，見到水，士兵還沒有完全喝到水，

李廣不去*近水；士兵還沒有完全吃上飯，李廣一口飯也不嘗。
李廣對士兵寬厚和緩不苛刻，士兵因此愛戴他，樂於為他所

〔李廣は〕敵に向かえば勇敢であり、士卒には愛情深かった。命令は煩雑でなく、部下はかれを慕った。ゆえに李將軍列伝第四十九を作る――太史公自序

李廣は清廉な人で、恩賞や下賜品を受けるといつも部下に分け与えた。飲食は士卒と同じ物をとった。李廣の一生の間に二千石（一六）の官についていたことが四十年余りあったが、家には財産は残らなかったし、死ぬまで家の経済について触れなかった。李廣は大きな男で、うでは猿のように長かった。かれが弓術にすぐれていたのも、その生れながらの資質である。



衛青、霍去病、李広 (史記の中の名将軍)

10月①のごあいさつ
山内公認会計士事務所
2022年10月1日(土)

漢は初代高祖劉邦から六代景帝にいたる数十年間、匈奴に対して常に受け身の立場に立たされてきた。これを逆転し、積極的な匈奴攻撃を実行したのは七代武帝であった。武帝は続々とオルドスの地(内モンゴル等)に討伐軍を送り込み、匈奴との間に大激戦が展開され、幾多の名将が輩出した。

先ず、大將軍衛青。彼は正妻の子供たちから奴隷の扱いを受け、暗い少年時代を過ごした。ところが、同腹の姉、衛子夫が武帝の愛妾(後に皇后)となるに及んで、その運命が一変する。

車騎將軍に取り立てられて匈奴討伐の緒戦に大功を立て、長平侯に封ぜられた。その直後匈奴の右賢王と闘い、これを撃破して、その副王10余人、捕虜15,000人、家畜数十万頭捕獲するという大戦果をあげた。衛青が国境の砦まで引き上げると、武帝は使者に印綬を持たせ、大將軍に昇格させ、諸將の軍はすべて衛青の指揮下に入るようになった。

霍去病は、衛青の甥で、少年の頃から武帝に可愛がられて宮中に出仕していた。十八歳で従軍し、遊撃隊を指揮してめざましい戦いぶりを示し、驃騎將軍に命ぜられた。霍去病は、匈奴の渾邪王を降伏させ、十万と称せられる匈奴を漢に帰属させたが漢の將兵には全く損傷がなかった。

霍去病は若い時から武帝の側近となり、高位についたためか部下を労わることを知らなかった。彼の出陣のとき武帝から車数十台にのぼる珍味佳肴を受け、その食糧はあり余って捨てねばならぬほどだったが、この間、士卒は飢えに苦しんでいた。

これに引きかえ衛青は情け深く謙虚で、穏やかな人柄であった。にも関わらず声望は霍去病に遠く及ばなかった。

匈奴が最も恐れた漢の將軍は李広であった。

李広が右北平の大守として着任した情報はすぐさま匈奴に伝わった。

「漢の飛將軍がきた」と言って恐れをなし、匈奴は以後数年間、右北平には侵入しなかった。李広は金銭に淡泊で下賜された恩賞はすべて部下に分け与え、飲食も常に兵と同じものをとった。李広の兵はいつも強かった。

また、李広は弓の名人で、ある日草むらにある岩を虎と見間違えて矢を討ちかけたところ矢は岩に突き刺さった。そこで改めて矢を討ちかけてみたが、何度試みても岩には二度と突き刺さらなかった。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 史记中的名将军 10月的问候 (1)

日付: 2022/12/30 15:10:36

宛先: masaki_yamauchi@hotmail.com

西汉，从第一代刘邦到第六代景帝时期的数十年时期，
对匈奴劣势的地位。

第七代武帝变换这个时代，举行积极的 (ji1ji2) 攻击匈奴。

武帝向内蒙古地方，连续送讨伐匈奴的军队，跟匈奴展开了大激战。

第一，大将军卫青，他和他的儿子们作为奴隶，度过黑暗的少年时代。

但是他的姐姐成了武帝的爱妻（后来皇后），以后他的命运一变了。

他成了皇帝的车骑将军，在匈奴讨伐的诸战做了大功，封为，长平侯。

这以后战了匈奴右贤王，破了敌方收了匈奴副王10余人、

俘虏 (fu2lu3) 15000人、俘获家畜100000头的大战果。

卫青归军国境的要塞，武帝把使者带了印绶，

卫青升格了大将军，就军的将军都卫青的指挥下。

霍去病是卫青的甥 (sheng1)，从少年时武帝的照顾下，

在宫中做官。在18岁初次从军，指挥游击队，成了效果，命骠骑

(piao4) 将军。

霍去病，降伏匈奴禪邪王，十万的匈奴归属汉，而且汉军没有损失。

霍去病从年少时做了武帝侧近，做了高位。

他没有配虑他的部下军士。

出战的时候，收了从武帝很多珍味佳肴 (yao2) 太多。

这个料食要放去。但，这时兵士苦了食粮。

他方卫青有亲切，谦虚 (qian1xu1)，人格高。

但是将军的声望不到霍去病。

匈奴最怕的汉将军是李广。

李广就任右北平太守的时候，这个情报就传匈奴。

以后数年间，匈奴没有侵入右北平。

李广是淡白金钱，下赐的恩 (en1) 赏就部下分配，

食得东西和兵士一样。所以李广的兵士什么时候都强。

李广又是弓的名人。